



# 青雲

第12号 令和8年3月19日発行

## 共に学び、 共に生きる

### <3月19日 修了式あいさつ>

今日は、今年度の締めくくりであると同時に、新しい学年へ向けたスタートラインに立つ日です。これまでの自分を振り返り、次への準備をする大切な式です。

先ほど、各学級の代表者に修了証を授与しました。一年生63名、二年生65名、計128名の皆さん、進級おめでとうございます。まずは、皆さん一人一人が、この一年間積み重ねてきた努力を、心からたたえたいと思います。

中学校生活の中で、皆さんは学習や部活動、学校行事、友人関係など、さまざまな経験を重ねてきました。もちろん、うまくいったことばかりではなく、悩んだことや思うようにいかなかったこともあったでしょう。

しかし、その一つ一つの経験が、皆さんを確実に成長させています。ぜひ、この一年で自分がどんな場面で頑張れたのか、どんなところが成長したのかを、振り返ってみてください。

皆さんは、この写真に写っているものが何か分かりますか。これは「竹」です。竹は、地上に姿を現すまで、何年もの間、土の中で根を張り続けると言われています。目に見える変化はなくても、土の中では、次に大きく伸びるための力を蓄えています。そして、いったん芽を出すと、驚くほどの速さで、まっすぐに成長していきます。

皆さんのこの一年間も、まさにその竹の成長と同じです。結果として見えにくかった努力も、皆さんの中では確実な力となっています。その積み重ねが、次の学年での大きな成長につながっていくことでしょう。

4月からは、それぞれ一つずつ学年が上がり、新しい仲間や先生方とともに、羽城中の新たな伝統を築いていくこととなります。ぜひ、羽城三精神「克己・感謝・連帯」を胸に、仲間と力を合わせながら、「卑怯なまねはせず、竹のようにまっすぐに」明るく元気な学校生活を送ってください。

明日から短い春休みに入りますが、何よりも命を大切にしてください。そして、新しい学年に向けた準備をしっかりと整えてください。

本校の生徒たちは、さまざまな学習や体験を通して、日々成長を重ねています。これからも、故郷を大切に思い、地域の一員として活躍できる力を育てまわります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を、よろしくお願いたします。

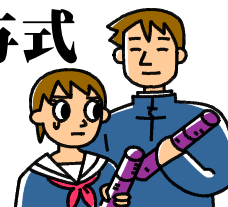
羽城中学校第29代校長

目黒 健

# 令和7年度 第76期生卒業証書授与式



## 思い出を胸に新たな一歩へ



3月6日(金)、第76期生62名の卒業証書授与式が、厳粛な雰囲気の中で執り行われました。当日は空が澄み渡り、卒業生の門出を祝うかのような素晴らしい天候となりました。会場にはほどよい緊張感が漂い、校長から一人一人に卒業証書が手渡されました。また、「別れの歌」として披露した『YELL』は、力強い男声と柔らかな女声が響き合い、会場全体を感動で包み込みました。

式後、各教室で行われた最後の学級活動では、卒業生たちが仲間や担任との思い出を語り合い、これまで歩んできた日々を温かく振り返る姿が見られました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。胸に抱いた思いを大切にしながら、それぞれが選んだ「新たなステージ」で力を発揮し、輝かしい未来へ進んでいくことを心より願っています。



校歌斉唱



学級担任による氏名点呼



学級担任による指名点呼



卒業証書授与



別れの歌「旅立ちの日に」



別れの歌「YELL」



卒業生退場



最後の学活(1組)



最後の学活(2組)

ご臨席いただきました保護者の皆様、ご来賓の皆様、心より感謝申し上げます。皆様の温かな拍手と温かいまなざしに支えられ、卒業証書授与式を無事に、そして厳かに執り行うことができました。今後とも、羽城中学校を見守り、支えていただければ幸いです。

## 答辞 卒業生 ○○ ○○

暖かな陽の光が降り注ぎ、桜の蕾みも膨らみはじめ、春の訪れを感じさせる季節となりました。この良き日に私たちは、羽城中学校を卒業します。今思うと、この三年間は、あっというまの日々でした。

三年前、真新しい制服に身を包んで迎えた入学式。大きな期待と不安、少しの緊張がありました。新しい教室、新しい先生、新しい友達。すべてが新鮮で、とても胸が高鳴りました。その一方で、難しい勉強、厳しい部活動が私たちを待っていました。最初は、この生活に慣れるのがとても大変でしたが、仲間と手を取り合い、数々の困難を乗り越えてきました。

一年生の宿泊学習では、わらび座の観劇や踊り体験をしました。踊り体験では、情熱的に無我夢中で踊ったことを覚えています。その結果、仲間との親睦をより深めることができたように思います。

二年生に進級し、後輩ができました。先輩として、後輩のお手本となれるよう、生活態度にも気を付けるようになりました。後期からは全校を引っ張るリーダーとして、様々なアイデアのもと、団結して羽城中学校を盛り上げました。同時に、責任の重さに悩むことも多くなり、話し合いを重ね、少しずつ前に進んで行きました。

そして迎えた最高学年。すべての行事に「最後の」が付き、寂しさを感じるが多くなりました。

修学旅行では、知らない土地で協力し合う中で、友達の良さを再発見でき、より絆が深まりました。また電車移動では、秋田とは比べものにならないほどの人の多さに驚きました。

二年ぶりに元木山で行われた校内競技会。四色に分かれた縦割り班での競技でした。各色の個性溢れるリーダーと後輩が一致団結し、応援合戦や競技を繰り広げ、行事を成功させた思い出は、大きな自信につながりました。

羽城祭では、吹奏楽の華やかな演奏やドリームステージで大いに盛り上がりました。

合唱コンクール。日々練習に励み、本番では、とても美しいハーモニーを響かせることができました。仲間と協力して物事を成し遂げ、喜びを分かち合うことの素晴らしさと達成感を感じることができました。

しかし、いつも順調に過ごしていたわけではありません。勉強や部活動での悩み、進路実現への厳しさを知り、心が折れそうになったことが幾度もありました。

今日この日を迎えられたのは、校長先生はじめ教職員の皆様のおかげです。苦しんでいる時、親身に話を聞いてくださいました。その時かけてくれた力強い言葉は、私たちを救い、背中を押してくださいました。

そして、何より私たちがここまで成長できたのは、家族の応援があってこそです。いつでも私たちのことを一番に考えてくれました。素直になれず、心ない言葉を言って傷つけ、反抗したこともありました。それでも優しく包み込み、励ましてくれました。常に一番近くで応援し、

無償の愛で支えてくれて、心から感謝しています。ありがとうございました。

在校生の皆さん、今まで様々な行事などで支え続けてくれてありがとうございました。いつも明るく、私たちの力になってくれて、とても頼もしかったです。中学校生活は長いようで、とても短いです。勉強や部活動はもちろん、友達と過ごす一日一日を大切に過ごしてください。そして仲間と共に、羽城中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、未来へとつなげてほしいと思います。

出会ってから三年。そばにいたことが当たり前だと思っていた友達。いつも笑いあった日々が、明日も、そして永遠に続くような気がしてなりません。正直、まだみんなと他愛もない話で沢山笑い合っていたいです。私の青春のページに、六十一名のみんなとの思い出を刻むことができ、とても幸せでした。ありがとうございました。

私たちは羽城中学校の生徒として過ごせたことを、誇りに思います。最高の後輩、先生方、家族、そして仲間。この三年間で得たことを糧に、これからの未来に生かしていきます。

今、私たちの目の前には新たな道が広がっています。私たち一人一人が、それぞれの場所で花を咲かせられるよう、邁進していきます。

今まで私たちを支えてくださった全ての方に、改めて感謝を申し上げます。三年間、本当にありがとうございました。

最後に、羽城中学校の益々の発展をお祈りし、答辞といたします。

令和八年 三月六日

卒業生代表 ○○ ○○



### 友だちの活躍

- ◆第72回全国少年新春書道展  
特選 3年 ○○ ○○
- ◆第48回日本剣道少年団研修会  
剣道時代賞 3年 ○○ ○○
- ◆潟上市スポーツ賞  
栄光賞 柔道 3年 ○○ ○○  
柔道 3年 ○○ ○○  
相撲 2年 ○○ ○○

## 送辞 在校生 ○○ ○○

校舎を照らす太陽の光から、暖かさを感じるようになり、木々のつぼみは、少しずつ花開く準備を始めています。この潟上市にも、しっかりと春の足音が近づいています。この良き日に羽城中学校を巣立つ76期生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。在校生一同、心からお祝い申し上げます。

希望と夢を胸に入学してからの三年間、たくさんの出来事とともに成長してきたと思います。数えきれないほどの思い出が詰まったこの校舎で過ごした日々は、とても早いものだったのではないのでしょうか。

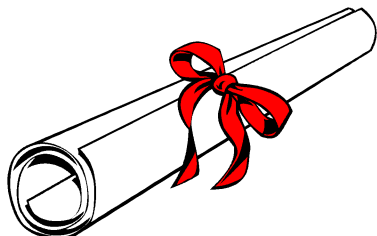
私が特に印象的なのは行事で積極的に盛り上げてくださる3年生の姿です。青空のもと行われた校内競技会では、全校生徒が四つのチームに分かれ、優勝を目指して競いました。どのチームでも3年生のリーダーシップが光り、特に応援合戦の練習では優しく教えてくださる3年生の姿が心に残っています。

そして、羽城祭では最高の思い出にしたいという願いを込めて「笑顔満祭～キープスマイリング・キープエンジョイニング・キープシャイニング」。というスローガンを掲げました。このスローガンを体現するように笑顔で楽しみ、輝く3年生の姿は多くの一、二年生の目に焼き付いていると思います。準備期間も先頭に立ち、率先して仕事をする3年生はとても頼もしく、私たちの目標となる存在です。合唱コンクールではすべての人の心に響く温かく綺麗な歌声で体育館がいっぱいになりました。

部活動では入部した時から親切にしていただき、たくさんのことを教えていただきました。楽しいことだけでなく、つらいこともともに乗り越え、ひたむきに練習する先輩を見て、チームワークと必死に努力することの大切さを学びました。

また生徒会活動では臨機応変に仕事に取り組み、いつでも学校のために動く先輩の姿が印象的です。素敵なメンバーと活動できたことを誇りに思っています。

そしてここ最近では、入試が近づく中で、遅くまで勉強に励む3年生の姿を何度も見かけました。自分の夢に向かって必死に努力する大変さを感じるとともに、私も努力を惜しまない3年生のような人になりたいと思いました。



三年生のみなさんと過ごした時間はあっという間でしたが、とてもかけがえのない時間となりました。どんな困難も仲間となら乗り越えられると思います。この羽城中学校で出会った仲間や学び、思い出を忘れず、これからも夢へむかって頑張ってください。それぞれの道に進み、新たなステージで活躍する3年生を私たち在校生は心から応援しています。

皆さんが築き上げてきたよき伝統を、私たち在校生がしっかりと受け継ぎ、これからも羽城中学校をより良くしていくことを誓い、送辞といたします。

令和八年三月六日

在校生代表 ○○ ○○



## 令和7年度 PTA表彰

本校では、毎年、PTA活動において役員を務めるなど、功績のあった3年生の保護者の方々を、PTA会長と校長名で表彰しています。今年度は5名の方に感謝状を、記念品とともに贈呈しました。お忙しい中、たいへんありがとうございました。(いくつかの役職を経験した皆様については、最新の役職のみを記載しております)

- ○○ 様(3-1 ○○) 文化部長
- ○○ 様(3-1 ○○) 校外指導部長
- ○○ 様(3-2 ○○) 学年委員長 (R6)
- ○○ 様(3-1 ○○) 広報部長 (R5)
- ○○ 様(3-1 ○○) 環境部長 (R5)